

# 医大誘致など推進

## 三島市長訪問し要望聴取

衆院選静岡5区で4選された民主党の細野豪志氏が11日、三島市役所に小池政臣市長を訪ね、要望を聞いた。政権交代し、選挙区内の衆院議員が細野氏一人になったことを受け、「自分が地域要望の窓口として責任を持つ」（細野氏）ということを確認するために、選挙区内の首長訪問は富士市長

に次いで2人目。

小池市長は、国について5項目、県へ4項目の要望書を細野氏に手渡した。その上で、細野氏に「これからは細野氏にお願いするということで行内を徹底した。国だけでなく、県への要望や市の状況もすべて把握していただきたい」と述べた。

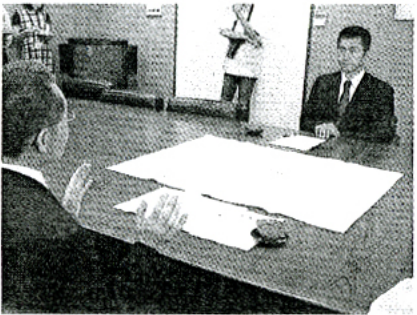
要望書の内容は、▽市を当て込んで複数年度にまたがって実施する事業については、地方が若干配慮する必要がある」と説明した。

街化区域と市街化調整区域の区分決定権の移譲▽地域の実情に合った農用地の除外▽三島社会保険病院の機能存続▽東部への医科系大学誘致―など。さらに、小池市長は新政権の道路事業縮小に懸念を示し、今夏の東駿河湾環状道路の部分供用で錦田地区が混雑している状況も踏まえ、同道路の早期完成を求めた。

これに対し、細野氏は、東駿河湾環状道路について「長年の伊豆の宿願」、医科系大学誘致は「知事と連携し、全面的にバックアップする」といわずれも強い推進姿勢を示した。

細野氏は民主党が検討している2009年度補正予算の一部執行停止については、「各自自治体の思いを尊重し、支障のないようにしたい。ただ、基金を当て込んで複数年度にまたがって実施する事業については、地方が若干配慮する必要がある」と説明した。

2009.9.12 静岡新聞



小池市長（左手前）から要望を聞く細野氏（三島市役所）